

昔おきなわ風景探索

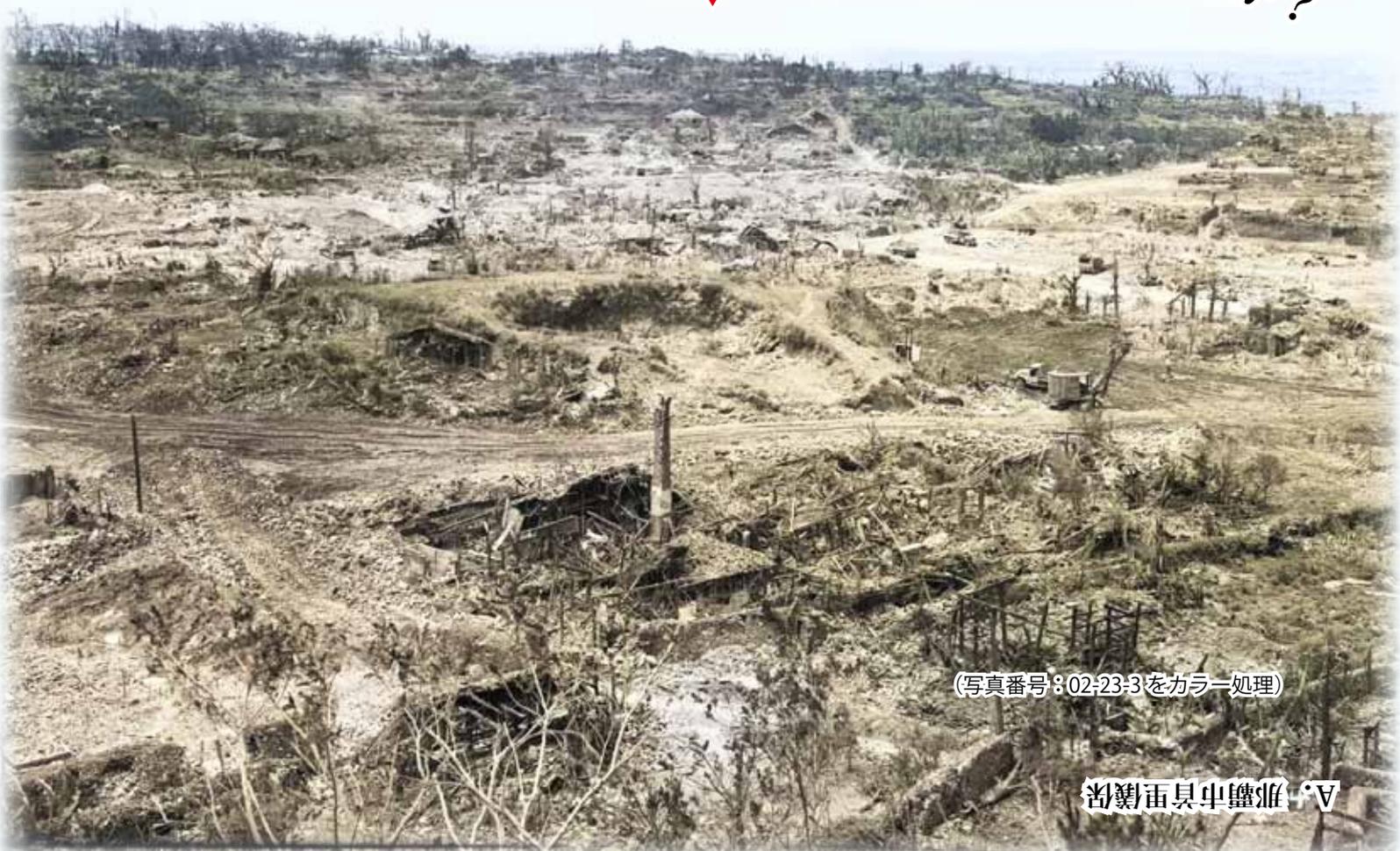
沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真



地図を表示

1945年

Q. どこでしょうか？



(写真番号: 02-23-3 をカラー処理)

那覇市第一中学校遺跡

場所が特定しにくい写真です。背景にヒントがあります。薄っすらとみえる遠景には山がなくて平坦ですから那覇市付近と思われます。大きなヒントは写真に▼で示した位置にあるコンクリートの建物です。沖縄県立第一中学校（今の首里高校）の可能性がります。空中写真から、そこに続く道路を調べます。場所を決定づけたのは写真中央にある馬蹄形の丘です。これは空中写真からも確認できます。この馬蹄形の丘の位置に現在のモノレール儀保駅があります。沖縄戦、首里攻防の激戦後と思われ、トラックやブルドーザーがみえます。1945年6月以降の写真でしょうか。

(資料コード: KS00000093 【ON27835 その 059,060,063を接合】)

1945年4月2日



1945年12月10日

(写真番号: AP451210A0_022)



表紙で示された場所を破壊される前の首里城北側の空中写真（1945年4月）からみてみます。表紙の写真は赤矢印の高台から撮影したものと推測されます。▼は現在のモノレールの儀保駅、▼は旧沖縄県立第一中学校（首里高校）、▼は旧沖縄県立首里高等女学校、▼は龍潭になります。儀保駅付近に馬蹄形の丘がみえます。赤枠にその部分を拡大しました。

前頁の破壊前の写真と同じ位置で破壊後（1945年12月10日）の写真を示しました。まだ、首里の住民は戻ってない頃ですが、儀保駅付近は道が新しくなっています。儀保町四丁目や大中町一丁目付近は、琉球石灰岩がむき出しになって白くなっています。採石された跡のようです。道路は白くなっており、これらの石が使われたことが想像されます。



①表紙の写真に接合したパノラマ。右写真の馬蹄形の丘が現在のモノレール儀保駅。右横奥の道路は首里高校方面へ。左写真の左にのびる道路は鳥堀交差点に向かう。背後の丘は首里城か、東のアザナ（▼）と思われる後方に崎山町の鉄塔（▼）がかすかに見える。（1945年）（写真番号：06-46-2と02-23-3を接合）

②写真①と似た首里城東のアザナと崎山町の鉄塔が確認でき、写真①の整地された付近（儀保駅の南）の作業前の写真か。（1945年5月31日）（写真番号：06-26-1）

③首里桃原の旧沖縄県立首里高等女学校付近への攻撃（1945年5月20日）（写真番号：114-26-2）



④旧沖縄県立第一中学校 (1950年3月30日)
(写真番号: 05-27-4)

前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。現在の首里城付近になります。地図上の赤、青、緑、ピンクの矢印や三角印は空中写真とほぼ同じ位置になります。④の写真は旧沖縄県立第一中学校の写真です。戦後もしばらく残っていたようです。

昔おきなわ風景探索 No. 11

発行日：令和7年（2025）7月14日
 編集執筆：当山昌直（1951年生）
 発行：（公財）沖縄県文化芸術振興会 公文書管理課
 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内
 電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

